

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		World of Wing		公開日	2026年 3月 23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		子どもとスタッフは常に2対1の体制としている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		全てをバリアフリーにするのは難しいが、トイレには手すりがつけてあったり、利用する子どもたちが使用しやすいように配慮はしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		子どもたちが使用する場所は全て清潔に保たれるように掃除の徹底を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		子どもの状態に応じてパーテーションを使用したり廊下等でその子が落ち着ける環境作りをしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		日々子どもの状態についてミーティングや会議を行い、それ以外でもスタッフ間で情報共有をして支援に繋がれるように考えている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者との対話や連絡帳等を通して意向を把握し、スタッフ間で共有するようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		スタッフが意見が出しやすい環境で、スタッフ全員で常に考えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	事業所のスタッフのみならず、活動を通して地域やスタッフ以外の人に関わってもらい風通しの良い事業所としている。	第三者委員はいるが、苦情がないため、現状では評価は依頼していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		研修において、必須の研修以外でスキルアップに繋がる研修などスタッフ一人ひとりの意見を取り入れるようにしている。	

適切な支援の提供

11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		日々の振り返りやミーティングでアセスメントを行い、子どもや保護者のニーズや課題をスタッフ間で共有した上で作成している	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%			
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		フォーマルなアセスメントについては情報不足な面もあるが、インフォーマルなアセスメントに関しては、毎日のように確認している。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		活動プログラムにおいては、常にチームで立案することを徹底している。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		曜日ごとのプログラムは決まっているが、内容が固定化されないように、また子どもたちが楽しく学べるプログラムを日々考えている。	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		支援前には職員間のミーティングがあり、その日の支援内容や役割分担について確認し、スタッフみんなで連携している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		支援終了後は必ず、その日の子どもたちの様子を振り返り、チームで共有している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	学校の先生や障害福祉関係と連携して支援を行う体制をとっている。	主治医との連携については、保護者が必要と認めると連携は取りやすいが、保護者を差し置いて主治医と連携…と考えると躊躇してしまう。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%	20%		学校によっては、なかなか連携が得られないことがあり難しいこともある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		必要である児童に関しては就学前に保育所や幼稚園等から情報を共有してもらっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		100%		児童発達支援センターを利用している子どもはいないため、連絡することが少ない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%	地域の学童クラブに対して複雑な思いをしている子がいるため、交流は避けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		事業所内での家族への研修会は行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		保護者会を希望する保護者がいないため、保護者会は設けず、個々に相談できる体制にはしている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		

非常時等の対応

47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		安全計画が常に誰でも見られるように玄関にファイリングされている。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		1日1ヒヤリを目指している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止のための研修でなく、自分の言動が虐待に繋がらないか相談できるツールがある。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		100%	身体拘束を行う子どもがいないため、行っていないが、身体拘束が必要となった場合は同意書や記録などをすぐに記載できるように整えている。	